

めいはん



初春や のぞく世界の 晴れ間かな

平成26年1月 No. 94

謹賀新年





年頭挨拶

昨年は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年も職員一同、皆様にご満足頂けるサービスを心がける所存でございますので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、本年は消費税8%の導入を控えており、一部の景気回復の恩恵にあずかるもの以外の、我々を含む多数の方々にとって厳しい年になることが予想されます。

また次回介護報酬改定の議論の中でも特養の入所要件が介護度3以上と厳格化されたり、要支援者を介護保険サービスの対象外とし、市町村事業へ移管するなどの方針を打ち出している状況です。そこで話し合われているのは社会保障費の抑制であり、利用者目線でより良い制度にしていこうという雰囲気はほとんど感じられません。

しかしながら、我々としては初心に帰りまいちど社会福祉法人としての使命を全うすべく自分たちのできることをできる限りやると気持ちを新たにしていきたいと思います。

4月には名古屋市昭和区に新施設をオープンいたします。財政を預かる国は施設の利用抑制をしているようにも思えますが、地域の現状をみるとまだまだ行き場なくお困りの方が多くおみえになります。そうした方々に必要なのは現実に差し伸べる手なのであります。

それでは、皆様のご健勝と益々のご発展を心よりお祈り致します。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成26年1月

社会福祉法人 貞徳会

理事長 矢留 真人

ガーデンハウス明範荘

新年会

元旦に各施設にて新年会を行いました。入所者の皆様にはお雑煮やお節料理が振る舞われ、お酒も用意して新年のお祝いをしました。

また理事長を始め、各施設長らで養護や特養の会場を回り、利用者様への新年のご挨拶に伺いました。挨拶に伺うと礼儀正しく挨拶される方やお酒が入って気分良さそうな方、なかには感極まって涙される方もみえました。

さらに会場には獅子舞も登場し利用者様の頭をがぶりとひと噛み。これで皆様がこの一年を無病息災で元気に過ごして頂けると思います。



クリスマス・忘年会

12月24日、クリスマスイヴに養護・特養それぞれにクリスマス会と忘年会を開催しました。

各食堂やユニットごとにすきやき鍋を目の前で調理し、皆様に召し上がって頂きました。また、お酒やジュースで乾杯しいつもと違った雰囲気です食事を楽しんでおられました。

会の終盤には皆様へささやかなクリスマスプレゼント。プレゼントを渡すと、「この歳になってもプレゼント貰えるの。」と喜んでおられる姿が見られました。



合同カラオケ発表会

12月5日に特養・養護合同でカラオケ発表会を開催しました。特養3名・養護11名の方に加えて、飛び入り参加で歌われる方もみえました。冬季に入り感染症対策などで外出の機会が減るなかでの大きな催しで、皆さん気合が入った衣装で臨まれていました。知っている歌が始まると、観客の皆さんも一緒になって口ずさまれていました。



ヤナゲン出張販売

11月12日に岐阜に店舗を構えるヤナゲンに出張販売に来ていただきました。今年の4月にも開催しているのですが、この時期は買い物などの外出も控えて頂いている事もあり、たくさんの方が利用され大盛況でした。大ホールに所狭しと並んだ商品を手に取り、品定めする目は真剣でした。寒い冬に備えて、暖かい衣類やゆたんぽを買われる方など、それぞれに買い物を楽しんでおられました。



文化祭

11月1日に明範荘文化祭を行いました。午前中はみたらしと栗ぜんざいの模擬店を行いました。焼き立てのみたらしや栗ぜんざいを皆様に召し上がって頂きました。

お昼からは演芸会で、各部署から思考を凝らした出し物を披露しました。養護老人ホームは器楽クラブの皆さんによる合唱・合奏。そして、職員と入所者による劇『赤ずきんちゃん』。デイサービスは『浪速恋しぐれ』に寸劇を交えて歌っていただきました。事務所は『ボケます小唄・ボケない小唄』を披露。

調理・医務は『ロシアンシュークリーム対決』。わさび入りを食べるのは…と対決し、また誰が食べたのかをクイズ形式で出題。

特養は皆さんご存知の『マツケンサンバ』を披露。

会場は利用者の方々で埋め尽くされ、満員御礼の大盛況でした。多くの皆様に楽しんで頂き、笑顔絶えないひと時となりました。



丸島保育園訪問

10月23日、丸島保育園の芋ほり行事に養護入所者の方で参加しました。園児の皆さんと一緒に芋ほりをおこないました。昔はよくやっとなミスコップを手に準備万端。園児さんのパワーに負けじと、たくさんの芋を収穫しました。収穫後は丸島保育園の教室にお邪魔して、ふかし芋を頂いてきました。



10月27日には丸島保育園祭にお邪魔しました。台風による天候が心配されましたが、台風はそれて晴天に恵まれました。保育園内・外に準備された魚釣りゲーム・スーパースクイーズ・ボールあてゲームなどに参加をしました。

また模擬店などもあって、焼きそばやみたらしをご馳走になりました。もちろん園児のみなさんが一生懸命つくった作品も拝見してきました。

保育園行事にお誘いいただきありがとうございました。



合同運動会

「明範荘養護老人ホーム」、「明範荘特別養護老人ホーム」、「グループホーム赤目」の3施設合同の運動会を開催しました。前日まで天候が心配され、屋外での開催が危ぶまれましたが、みごとな天気で10月としては記録的な暑さとなる程でした。開会式のあと、ラジオ体操からはじまり、ボールわたし競争・魚釣りレース・職員対抗のつな引きなどを行い、最後は玉入れで競いました。最終結果は224対191で赤組の勝利となりました。



家族会

今年も敬老の日に家族会を開催しました。この日は台風18号の影響でたいへんな荒天となりましたが、多数のご家族様にお集まりいただき、会を催すことができました。朝のうちは雨風ともに強かったのですが、昼過ぎには晴れ間がのぞく天気でした。今回は河井施設長から特養の看取りについての説明会を行いました。お昼は、毎年おなじみのちらし寿司を召し上がって頂き、午後からはバザーや模擬店などで楽しんで頂きました。

悪天候のなか、当施設へ足をお運び頂いたご家族の皆様、ありがとうございました。お陰様で入居者の方々がご家族様と楽しんで頂くひと時が作ることができました。



敬老祝賀会

9月10日に養護・特養の合同での敬老祝賀会を行いました。
近隣にある丸島保育園の園児さんがお祝いに駆けつけてくれました。園児さんからは踊りの披露や、手作りメダルを授与して頂きました。
園児さん達の慰問後は、喜寿や米寿の節目を迎えられる方へ施設から記念品をお渡ししました。ちなみに今年の最高齢者は101歳を迎えられています。
そして、この日の昼食は割り弁当。お祝御前にお酒やジュースでお祝いしました。



愛西市長表敬訪問

9月30日に愛西市の日永市長が百歳以上の方を対象に表敬訪問に来てくださいました。
特養入居者4名の方が対象者となり、記念品が贈られました。



ガーデンホーム赤目



ピザ釜に念願だった屋根も完成し、やっと焼くことが出来るようになりました。
クリスマスに大きなピザを焼き、焼き立てを美味しくいただきました。



又、レクで五平餅を作ったり、お正月には「おせち」を楽しみました。

この年末年始は、食べることが非常に充実して、入居の皆さんにも満足していただけたことと思います。

これからは正月太りにならないようにみんなで注意をしましょう！！

特養ホーム 川名山荘



川名山荘（名古屋市昭和区川名山町 6-7 / 26 年 4 月開所）の完成引き渡しは 2 月 1 日予定になっております。ついに足場も外れ、外観があらわになりました。

川名山荘は 1 月 6 日から入所申込みの受け付けを開始し、1 月末までの受け付け分を初回の入所判定委員会に諮り、入所者の決定を行う予定になっております。

詳細につきましては、ホームページなどでご確認いただくようお願いいたします。



コラム 第6回

介護力向上

昨年度より、国際医療福祉大学院教授の竹内孝仁先生の講習会に参加し、介護について学んでおります。オムツを外すという大きな目標を掲げており、オムツ使用率は昨年を取組前で42.4%だったものが14.2%へ、トイレで排便をせずベッド上で排便をしている方の割合が40.6%から15.0%へと減少し、取り組みの成果を感じています。(いずれも明範荘特別養護老人ホームの入所者データ：12月時点)

さて、前回に引き続き食事のお話になります。

では前回のおさらいから、むせなく安全に食事をするためにはなにが必要か？竹内先生は5つの条件を提示されています。

①常食 ②水分 ③自力摂取 ④姿勢 ⑤義歯

食するとき、口の中で何が起きているか考えたことはありますでしょうか？普通は考えません。考えなくても食べると思えば、われわれは自然に食べることができます。しかし、食べられなくなったとき、安易にやわらかくすればよいというものではないのです。

食物が口に入ると、それをかみ砕き、唾液と混ぜ合わせ、小食塊に分割し、のどへと送り、飲み下して食道へと入ります。そのとき舌が活躍しているのは意識されますか？舌が食物を移動、唾液のくみ上げ、分割し送り、舌根部の盛り上がりでのどへ送り込みます。複雑なことを無意識にやっています。そして、その間一貫して咀嚼運動が続き、舌運動を誘発しています。

食べるのが遅くなった。むせることが多くなった。という理由で安易にやわらかいものを提供することは、健康成人が一日2500回おこなうという咀嚼を大幅に減らし、口腔機能の廃用症候群を招き、さらに口の機能

低下を招いているということが言えます。結果、食事形態をやわらかくすることが、口腔機能の低下を招き、さらなる食事形態の変更を余儀なくされる…で最後食べられなくなり胃ろうという悪循環が続いていくことになります。



歩行などでは「頑張って歩かないと歩けなくなるよ」とよく言われますが、同じことが食事にも当てはまります。噛む回数が多いから食物をコントロールできるということをまず知らねばなりません。

それから、水分が足りないとむせが起こります。水分不足で脱水になると意識レベルが下がります。そうすると口腔運動の機能も下がります。唾液の分泌量も下がります。当然、食物をうまくコントロールできなくなります。

水分不足でいうともうひとつ、これもよくあるケースですが、認知症がある方が食べないということがあります。食事を前にしても興味を示さない。口に入れても噛もうとも飲み込もうとしない。口から食物がたれてくるといったことがあります。「今日は食べないね～。集中力ないな～」なんて言っていたら大きな間違いで、ただの脱水。水分を計測し必要量摂ってもらったらそんなことはなくなったということが、往々にしてあります。

そして食事介助よりも自力摂取がよい。利用者の咀嚼嚥下のタイミングと介助者の食物をいれるタイミングが合わない。

姿勢も大事。車いすのままの状態ではではなく、椅子に座り、足底をしっかりとつけていないと噛む力は低下します。そして高さがあった椅子や机を用意することで、自力摂取ができるようになったかたもみえます。

また特にベッドやリクライニングに寝たまま食事をたべる方にとって、気道に食べ物が入りやすい危険な角度があり、理解をしなければ常食化以

前に誤嚥性肺炎や窒息のリスクを高めている可能性もあり、姿勢は重要になります。

最後に義歯の調整も必要です。自分の歯があって義歯を必要としないという方よりも、適合の良い義歯を使って見える方の方がむせが少ないとのデータもあるそうです。かみ合わせの最適化を図ることが大事なようです。

上にあげました

①常食 ②水分 ③自力摂取 ④姿勢 ⑤義歯

この5つの条件から外れていったとき、お粥にしたりミキサー食にしたりすること自体が、さらにむせを頻発させる原因となるということです。

明範荘でもこれらを理解し、できることは行っています。しかしながら、実践は複合的に要素が絡み合い。水を十分摂ってもらうだけでも四苦八苦しております。

また、常食化へ向けての取り組みと並行して、ムース食に代表されるように、刻んだものをいかにおいしく食べていただけるかの研究も行っております。

さまざまな先進的介護技術を勉強しつつ、施設としてどのようなサービス提供を行っていくか皆さんのご意見も寄せていただきたいと思います。



明範荘送迎バス

(第2・第4 金曜日)

津島駅 10:00



明範荘 10:20

明範荘 14:00



津島駅 14:20

遠方からの面会の際などお気軽にご利用ください。

予約制ですので、ご利用の際には必ずお電話にてご連絡ください。

都合により変更の場合がありますのでご了承ください。

TEL: 0567-33-3077

愛西市無料巡回バス

愛西市無料巡回バスでは明範荘前に停留所が設置されています。

運行日は月～土曜日となっています。年末年始(12/28～1/4)と

日曜、祝日は運休となっておりますのでお気をつけください。

八開ルート1コース

藤浪駅 10:49



町方駅 11:01



明範荘 11:12

八開ルート2コース

明範荘 13:54



町方駅 14:04



藤浪駅 14:16

上記はコースの一例です。詳しくは愛西市ホームページ、または
愛西市役所総務課(0567-26-8111)にお問い合わせください。



“養護入所者NF様の作品”

お花紙を使用した貼り絵で、愛西市の文化祭に出展しました。

社 会 福 祉 法 人 貞 徳 会

明 範 荘 養 護 老 人 ホ ー ム

明 範 荘 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム

明 範 荘 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー

愛知県愛西市赤目町山之神 30 番地 1

TEL 0567-33-3077

FAX 0567-37-0212

Mail info@meihansou.or.jp

HP <http://www.meihansou.or.jp>